

平成26年度 組織目標(農政水産部地方機関)

畜産技術振興センター

番号	目標	目標設定の理由	平成26年度の目標値	計画目標値	平成26年度の目標達成に向けての手段・方策
4	近江牛の生産基盤の拡大	当センターで生産された雌子牛を繁殖農家に譲渡し、近江牛の生産基盤の継続的拡大を図る必要があります。また、県内繁殖牛の遺伝的能力改良を進め、その生産性の一層の向上を図る必要があります。	繁殖雌牛飼養頭数 116頭 子牛生産頭数 100頭 子牛育成技術の向上6月齢体重 雄: 210kg以上 雌: 180kg以上	平成32年度県内繁殖和牛飼養頭数1,650頭 (滋賀県酪農・肉用牛生産近代化計画平成32年度目標値)	<ul style="list-style-type: none"> ・育種価評価を活用し、繁殖牛の計画的な淘汰更新を行うとともに、主産地からの高能力繁殖素牛導入により繁殖雌牛群の遺伝的能力の向上を図ります。 ・「超早期母子分離飼育」技術を基本に飼養管理を見直し、分娩間隔の短縮と子牛の生産効率の向上を図ります。 ・現状の子牛の発育を維持するとともに、飼養管理方法をマニュアル化し、県内普及を目指します。
		胚移植技術を活用した乳用牛による和牛生産を推進し、酪農経営体を近江牛生産基盤の一つとして、拡大定着を図るとともに、酪農家の副収入を増加させることにより、県内畜産農家の経営安定を図る必要があります。	和牛胚供給個数100個 受胎率 45%	平成32年度肉専用種飼養頭数13,000頭 (滋賀県酪農・肉用牛生産近代化計画平成32年度目標値)	<ul style="list-style-type: none"> ・育種価評価を基に遺伝的に優良な胚の効率的な生産を行います。 ・肥育素牛として市場性の高い胚を供給します。 ・胚移植現場における利便性の高い胚凍結技術の改善を図り、移植頭数の拡大と受胎率の向上を図ります。
		耕作放棄地等の草資源を積極的に活用し、繁殖雌牛の畜舎増設を伴わない増頭を図る必要があります。	放牧地における分娩管理と子牛哺育育成技術の確立	平成32年度県内繁殖和牛飼養頭数1,650頭 (滋賀県酪農・肉用牛生産近代化計画平成32年度目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・場内に設置した放牧地において、繁殖雌牛を放牧し、分娩させます。 ・分娩後、柵越哺乳やロープ誘導等の馴致技術の検討を行います。
5	飼料の県内自給の強化	飼料用米をはじめとする水田由来の自給飼料の乳用牛および肉用牛への給与方法を検討し、県内飼料自給率の向上に繋がる効率的な活用方法を確立する必要があります。	①肉用牛における生米ぬか給与の肉量、肉質への影響を検証します。 ②乳用牛における稲WCS多量給与による産乳量、乳質への影響を検証します。 ③肉用牛、乳用牛における飼料用米給与の普及を図ります。	平成32年度県飼料自給率31.0% (滋賀県酪農・肉用牛生産近代化計画平成32年度目標)	<ul style="list-style-type: none"> ①肉用牛の肥育全期間の濃厚飼料の10%を生米ぬかに代替し、飼料摂取量、増体、枝肉成績の調査および肉の理化学分析を実施し、生米ぬか給与の影響を検証します。 ②乳用牛の各泌乳期の粗飼料を稲WCSに代替し、産乳量、乳質を調査し、稲WCS給与の影響を検証します。 ③牛への飼料米給与技術について資料を作成し、農家現場での技術指導に活用します。

番号	目標	目標設定の理由	平成26年度の目標値	計画目標値	平成26年度の目標達成に向けての手段・方策
		輸入飼料に依存した畜産から国産飼料に立脚した畜産への転換が求められています。そこで、水田を基盤とした飼料の県内自給率の向上が必要となっています。	生稲わらサイレージ調製技術の確立	平成32年度稲わら自給率100% (滋賀県酪農・肉用牛生産近代化計画平成32年度目標)	・生稲わらのサイレージ調製過程でのβ-カロテン含量をコントロールする技術の検討を行います。 ・資材の添加量の検討を行うとともに、フィールドでの技術実証に取り組みます。
4	酪農、肉用牛の生産性向上	酪農および肉用牛経営の安定のため、乳用牛および繁殖和牛の繁殖成績を向上する必要があります。	分娩間隔目標 ①乳用牛14. 1ヵ月(H25: 14. 3ヵ月) ②繁殖和牛13. 6ヵ月(H25: 13. 8ヵ月)	①乳用牛分娩間隔13. 3ヵ月 ②繁殖和牛分娩間隔12. 5ヵ月(滋賀県酪農・肉用牛生産近代化計画平成32年度目標値)	①定期繁殖検診を実施し、繁殖障害牛の早期発見早期治療を指導するとともに、発情発見方法等の飼養管理技術、暑熱対策と乾乳期間短縮等の繁殖成績改善技術について指導します。 ②定期繁殖検診による飼養管理指導を実施します。また、飼料給与と繁殖成績についての調査報告書を作成し、研修会や現地指導による改善指導を行います。